


















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： SCSKニアシヨアシステムズ株式会社 熊本開発センター

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																	
																																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿を期初の全体会議（キックオフ）で従業員に説明し共有している。							8	9											17															
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規程とマニュアルがあり、法令遵守の重要性を、全従業員（派遣受入社員を含む）に向けて発信している。 ・定期的なコンプライアンス研修受講（e-learning）を実施し、全従業員への啓発を行っている。 ・社内ポータルサイトにコンプライアンスページを設け、全従業員への注意を促している。 ・全従業員が参加するキックオフミーティング（2回/年）で、コンプライアンスミーティングを開催し、違反事例の確認・共有、注意喚起を行っている。																			16															
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員向け、定期的な研修受講（e-learning）でその重要性を発信している。												10							16															
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・当社コーポレート部門である管理部にて体制を保有している。SCSKグループ各社及び当社各拠点と連携する体制となっている。																				16														
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの侵害排除について、知的財産取扱規程を設けている。 ・社内において、知的財産に関する定期的な研修受講（e-learning）を実施している。							8.2	8.3	9										16															
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・プライバシーマークを取得している。 ・個人情報保護規定を設け、規則に則り、運用を行っている。 ・社内において、個人情報保護に関する定期的な研修受講（e-learning）を実施している。																				16														
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・定期的な満足度アンケートなど、顧客の声（特に苦情）を大事にし、双方向コミュニケーションに努めている。																				16	17													
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・パートナー会社については当社経営理念に賛同をいただいた上で参画してもらっている。またコンプライアンス違反やハラスメント防止のため、当社社員教育と同様に、パートナー会社社員に対してもe-Learningで定期的に教育を実施している。					5				8			10				12	13	14	15	16	17													
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・同一案件・プロジェクトを近隣地域（長崎、熊本、鹿児島など）や他の拠点を含め、当社複数拠点で開発を行う事業継続計画を策定しており、災害や事故などが発生した際は他拠点でのリカバリーが行えるようリスク対策を実施している。 ・安否確認システムを導入し、定期的に災害報告訓練を実施している。 ・全社員に対して、災害マニュアルの配付および定期的な災害研修（e-learning）を行っている。										9						11			13.1		16	17												
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・年2回SCSKグループ役員/経営層を集め、事業承継について幹部ミーティングを実施している。SCSK経営層からのメッセージを通じ、当社経営のベクトル合わせを実施している。 ・SCSKグループ内の人材志向制度を設けている。												8	9									17												
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2														12	13	14	15	16	17												
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。 ・全従業員に対して、従業員受入時、および、定期的（1回/年）にハラスメント研修（e-learning）の受講を実施している。 ・内部通報、相談ホットラインを設けており、社内ポータルサイトに掲載すると同時に、全従業員がホットライン連絡先の掲載されているカードを携帯している。 ・全従業員が参加するキックオフミーティング（2回/年）で、内部通報制度や相談ホットラインの再周知を行っている。				4.3	5.1					8.5											16.1				16.2					16.7				
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・残業時間については長時間勤務とならないよう全社にて管理。残業時間が多い社員には面談を義務化する等、特にメンタルヘルスケアに努めている。 ・社員の悩みに匿名相談できるカウンセリングルームを設置。 ・月次で疲労蓄積度チェックを実施し、拠点従事者（正社員、スタッフ、パート社員、パートナー）の健康状態を確認している。					3					8.8																								
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態にかかわらず、オフィスの福利厚生施設（休憩室、ロッカー、給水機、会議スペースなど）が利用可能となっている。 ・必要に応じた教育研修を従事者（雇用形態に関わらない）に促している。						5.5				8.5																				10.2	10.3			
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組み、有給休暇などの取得奨励を実施している。 ・有給休暇とは別に育児、介護、ボランティア活動の休暇制度を設け、仕事と家庭の両立を図っている。					3						8.5																			10.3				
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。 ・良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための教育を実施している。											8			9																				
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・従業員の子育てをサポートし、くるみん認定（厚生労働省）を受けている。											8																			17				
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・社内でも活躍する多様な人材のインタビューをホームページに掲載し、多様な人材の確保に努めている。 ・ワーク・ライフ・ハビネスのワーキンググループを設け、育児、介護、女性活用、障がい者雇用等について環境整備を進めている。 ・社内報にダイバーシティに関する掲載を定期的に取り上げ、活躍できる環境があることを社員に共有している。				4.4	5.1						8.5																			10.2	10.3			16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等導入している。	●		・フレックス、在宅勤務（テレワーク等）を導入するなど、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。											3				8	9.1				11	12													
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・手続きやカタログ等の電子化を進めている。 ・医療業界向けの顧客に対して、DXソリューションを提案している															8	9.1					11	12												
	21	【プライド企業】 ・プライド企業に認定されている。	●		【予定】プライド企業の認定を【2023年6月】申請予定である。																	3																	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： SCSKニアショアシステムズ株式会社 熊本開発センター

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		自社が排出する廃棄物や有害化学物質について、廃棄物処理業者に委託するなど適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1									
	23	【エネルギー】 ・電力やガスなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・再生可能エネルギーや非化石証書の活用により、温室効果ガスの低減に努めている。 ・「スマート・ワーク・チャレンジ」を実施し、業務の効率化や残業時間の削減することで、エネルギー消費の環境負荷の低減に努めている。 ・通年ビジネスカジュアル（ウォームビズ、クールビズ）により、エアコン利用の抑制を行っている。								7.3					13											
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・SCSKグループ全体で、「気候変動への対応」として、エネルギー使用量や温室効果ガス排出量を把握し、その使用量削減や排出量の低減に取り組んでいる。 ・未使用場所の消灯、各種書類のペーパーレス化を実施している。 ・通年ビジネスカジュアル（ウォームビズ、クールビズ）により、エアコン利用の抑制を行っている。			2.4							7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15								
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・産廃業者と契約し、マニフェストに基づく適切な廃棄物処理を行うことで環境保全を推進している。 ・執務スペース内で、ごみの分別を実施している。						6.6									14	15								
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・会議等の参照資料は、電子媒体で共有し、ペーパーレス化している。 ・ワークショップやトレーニングで利用した材料・消耗品は、回収して次回開催としてメンテナンスし、再利用している。											9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15							
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・組織内の定期会議や従事者グループのチャットで、こまめな水流の停止や排水処理について注意喚起を促している。						6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17					
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		SCSKグループ全体で、環境配慮型商品の購入・販売に取り組んでいる（再生用紙の購入等）。													9.4		12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4								12.3		14	15		17				
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●																11.6 11.7		13.1 13.3	15		17				
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3								
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6					9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6								11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●																	12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●		通勤は、公共交通機関の利用を促進している。また、社用車は保有せず、極力公共交通機関を使用して、取引先などへの訪問を行っている。														9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●																	7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13		17.17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: SCSKニアショアシステムズ株式会社 熊本開発センター

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		SCSKグループの開発標準プロセス『SE*(SmartEpisode Plus)』を使用し、安定した品質を確保できる様に整備している。 また、定期的にアンケートを実施し、評価の低い内容について改善を取り組みを実施している。			3.9						9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・スロープの設置やバリアフリーの施設レイアウトにするなど、ユニバーサルデザインを考慮している。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●								7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●										8.2	9.2 9.4	11.a	12.2		14	15				17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		熊本県内で、子供向けのワークショップ(CAMP)を実施し、子供たちの創造力とコミュニケーション能力の育成を支援する活動を行っている。 また、ワークショップにプログラミングの要素を取り入れることで、子供たちのITへの興味を後押ししている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的に避難訓練を行っている。 ・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。				4							11.5		13.1				16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生や大学生のインターンシップを、積極的に受け入れている。 ・学校等と連携し、出前授業などを行っている。				4					8.6		10.2							17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の生徒、学生を積極的に雇用している。				4.4					8.5 8.6										17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●					4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。